

## 平成27年度 第1回 尼崎市社会教育委員会議について

標題の会議が、次のとおり行われましたので報告します。

### 1 と き

平成27年5月26日(火)午後1時30分から午後3時30分まで

### 2 ところ

尼崎市庁舎北館3階教育委員会室

### 3 出欠状況(順不同)

- (1) 出席委員 9名
- (2) 欠席委員 3名
- (3) 出席職員 教育長以下5名  
(他3名)

### 4 会議成立の報告

司会者より定数12名中9名が出席し、会議が成立している旨の報告があった。

### 5 会議内容

議事進行に先立ち、平成27年度第1回目の会議のため教育長より挨拶があり、複合施設となる中央公民館について、昨年度、社会教育委員から貴重な意見をいただき、市民会議において意見が反映されたことへのお礼と、これからの社会教育においては、大人の学びを子どもの育ちに活かして行くことなどが大切であり、社会教育委員会議ではそういった視点でご意見・検討いただきたい。

また、来年度は、本市は市制100周年を迎えるため、ふるさとに誇りと愛着を感じとれる絶好のチャンスととらえ、「知れば知るほどあまがすき」のキャッチフレーズのもと、市民の方々と一緒に尼崎の教育の素晴らしさを再確認し、次の取り組みに繋げていきたいとの話しがあった。続いて、委員、出席職員の紹介があり、その後議事に入った。

## 協議事項

### 議題1 平成27年度社会教育関係主要事業について

社会教育部長より、平成25年度に策定した尼崎市総合計画における社会教育部関連施策「02 生涯学習と17 地域の歴史」について、施策を考える背景と施策の展開方法、各主体(市民・事業者、行政)が取り組んでいくこと、進捗状況を測る主な指標等についての説明、次に、今年度の尼崎市総合計画における社会教育部に係る新規・拡充事業について、旧梅香小学校敷地複合施設整備事業、学社連携推進事業、生涯学習推進事業、図書館行事事業等について説明を行った。

引き続き、平成27年度社会教育部内所管課及び教育総合センターの社会教育関係事業のうち、主要なものについて説明を行った。

### 〔委員からの意見等〕

- ・ 将来的には、施設利用として図書館と公民館とのより密接な連携等一体化が必要ではないか。
- ・ 地域学習館の運営は、現状厳しい状況にある。地域に役立つ事業等を企画して行っているが、活動実績として何ら報告されていないのが残念である。
- ・ 園和北地域学習館の運営については、3年間の助成金が無くなれば運営は難しくなる。市から何らかの支援は無いのか。
- ・ 地域学習館それぞれの実績は異なると思われる。実績があまり無いところも見られるので、助成金が無いとやっていけない団体については、管理・運営の方法を考えなければいけない。
- ・ 公民館の登録グループの現状についてはどうなっているか。減少傾向の理由は何か。

### 〔事務局からの説明等〕

- ・ 地域学習館の運営については、地域団体等が建物〔老朽化施設を除き〕を引き継ぎ運営をしていただいているが、3年間という期間は、地域団体が自立して管理・運営をしていただくための期間であり、4年目以降も引き続き助成を行うことは難しい。
- ・ 図書館については、セミナー室の利用等社会教育施設の有効活用を進めている。
- ・ 公民館の登録グループについては、若干減っている。分館が無くなったことにより減少した。

## 議題2 平成27年度社会教育団体への補助金について

社会教育課長より、資料に沿って説明があった。これに対し、委員より全体的に少しカットされていることについて、説明を求められ、補助金については、尼崎市全体の方針で一律3%カットとなっており個別の理由はないことを伝えた。

## 議題3 平成26年度教育委員会議における協議内容について

社会教育係長より、平成26年度においては平成19年度の社会教育委員会議の提案の主要な項目について検証し、今後の社会教育事業のあり方について協議をしていただいた。また、旧梅香小学校敷地複合施設のあり方について、協議いただき「あり方市民会議」に提案を行い反映されるに至ったことを報告した。

## 議題4 平成27年度社会教育委員会議における協議事項について

社会教育課長より、事業説明でお伝えした尼崎市総合計画・施策に関する内容等を含め、今年度の協議内容について、ご意見をいただきたい旨説明を行った。

### 〔委員からの意見等〕

- ・ 来年度市制100周年を迎えるにあたり、何か社会教育としてどのように取り組むのか。

- ・ 市制70周年の際に、「ああ尼崎市民家族」(キダ・タロー作曲、デュークエイセス歌)が作成され、今も市バスの終着で流されている。その頃はPRされていたと思うが、いい歌なので、市民や子どもたちが、歌ったり踊ったり楽しく親しんでもらえるような企画ができれば面白いのではないか。
- ・ 尼崎市の財政状況は厳しく予算がつかない状況であるが、収益を上手くコントロールできる企画ができないか。
- ・ 公民館活動で編み物をしていた時に、老人ホームでのボランティア活動を紹介していただき、7年以上活動を続けてきた。今回、事情があって活動を終えることになったが、とても良い経験であったと感じている。  
これからも、公民館での学習活動が、誰かをサポートできるボランティア活動に繋がるようになれば良いと思う。そのためには、公民館に、活動のコーディネーターや相談役となってくれる方が居れば良いと思う。
- ・ 社会教育主事講習について、昨年度受講した職員が今年度異動となっているが、異動に関して、資格を取得したことを活かした人事配置はされないのか。
- ・ 社会教育として、高齢者(シニア層)に対する事業の展開は考えられないか。
- ・ NPO 法人等と連携していくなど、学びをコーディネートし、社会に活かしていくことを考えることが必要。

#### 〔事務局からの説明〕

- ・ 「ああ尼崎市民家族」尼崎市制70周年記念市民の歌については、何かできないか検討課題としたい。
- ・ 市民の方の相談窓口として、昨年度から「あまなびサポートデスク」という名称で、学びたい人、活かしたい人、協力してくれる人をつなぐお手伝いをする窓口を開設している。是非、公民館にご相談いただきたい。
- ・ 平成27年度の社会教育主事補職発令者は、社会教育部では2名増えており昨年度の受講者は若い職員であり、幅広く今後の仕事に役立てるものと考えている。  
今後も、資格取得者の退職や再任用が多くなってきていることから、若返りをも目的として講習会の受講者を決定していく予定である。
- ・ 高齢者(シニア層)に対しては、公民館で市民大学講座を実施しており、人気の講座である。また、図書館では「大人のためのシネマ」という企画などを行っている。
- ・ 今日いただいたご意見は、総合計画に係る学びの成果を活かすことに繋がるものであり、今後の協議で、さらに具体的事業についてご意見をいただきたい。

#### 〔議長より〕

委員のみなさんより、市民・事業者の視点から、市制100周年に係る事業の企画や高齢者に向けた事業の提案など活発なご意見をいただいた。今後、どのような事業の取り組みができるのか、総合計画の方針に基づき、より良い事業について委員のみなさんと協議を深めていきたい。

## 6 その他報告事項

### (1) 梅香小学校敷地複合施設の進捗状況について

社会教育課長より、社会教育関係施設部分の現況について、設計委託業者が決定したこと、スペースの内容・今後のスケジュール等について報告を行った。委員からは、昨年の社会教育委員会議で設計ができた時点で、見せていただきたいとお願いしたが、見せてもらえるのかとの質問があり、担当課に伝える旨回答した。

### (2) 平成26年度阪神北地区社会教育委員協議会研修報告

平成27年2月川西市アステ市民プラザアステホールで行われた「生涯学習の利点と力」「学校から見た社会教育～学校・家庭・地域の連携を考える～」について、江田議長より報告があった。

### (3) 尼崎市立北図書館指定管理者選定委員会について

中央図書館長より、指定管理者選定委員会について説明があり、社会教育委員より江田議長が選定委員会委員に選任されたことが報告された。

### (4) 尼崎市スポーツ推進計画について

スポーツ振興課長より、資料に基づき尼崎市スポーツ推進計画《後期計画》についての説明があった。

以上